

一ヶ月皆勤には皆勤賞壹圓支給し、毎半期賞與として五日分乃至十五日分給する。

り、實物給與

イ、給米制度 本工場に於ては給米制度とて米價一升貳拾五錢で支給し市價との差額は會社で負擔してゐるので、現在會社の補助負擔額は一ヶ月約七千圓程度になつてゐる而して支給額は一人當り二十二キロ（一斗五升）宛家族數（子供は半額）に應じて支給する。

ロ、作業服 作業服は全額又は半額補助することになつてゐるか、作業場に依りて異なるも、一般には女工は正服着用につき半額會社負擔し男工は第一回丈半額會社負擔す

十六、福利施設

1、女工寄宿舎

鐵筋コンクリート三階建にして收容力四千名、獨立經濟にして舍賃壹日七錢を徴收し、食事夜具その他一切會社に於て支給す。而して宿舎にては修養、体育、慰安、娯樂、醫療衛生等の設備に意を用ひたり。

2、男工寄宿舎

未成年男工の爲主として青年學校生徒收容の寄宿舎建設中に於て完成の上はベンベルグ、レイヨン兩工場共各々二百五十名宛の收容力を有すと謂ふ。現在之等の未成年工は市内素人下宿屋にありて拾圓位の下宿代（一日の收入は七拾錢位）を支拂ひつつあるも寄宿舎完成の上は一ヶ月八圓乃至八圓五拾錢程度の會費で済むこととなるのである。

3、食堂

現在は寄宿女工に對する食堂あり一時に一千名の收容力あり